

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	53	図2	<p>物体を引く力の大きさ f が小さいときには、力の大きさ f と静摩擦力の大きさ F がつりあい、物体は静止している。</p> <p>物体を引く力の大きさ f が大きくなると、静摩擦力の大きさ F は $F = f$ の関係を保ちながら最大摩擦力の大きさ F_0 まで大きくなる。</p> <p>(a) f が小さいとき (b) f が大きくなったとき</p>	<p>物体を引く力の大きさ f が小さいときには、力の大きさ f と静摩擦力の大きさ F がつりあい、物体は静止している。</p> <p>物体を引く力の大きさ f が大きくなると、静摩擦力の大きさ F は $F = f$ の関係を保ちながら最大摩擦力の大きさ F_0 まで大きくなる。</p> <p>(a) f が小さいとき (b) f が大きくなったとき</p>
2	186	右段 問10	<p>(1) \vec{F}_1 \vec{F}_2 (2) \vec{F}_1 \vec{F}_2</p>	<p>(1) \vec{F}_1 \vec{F}_2 (2) \vec{F}_1 \vec{F}_2</p>

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
3	カラーページ5	1族 第2周期	 <p>* 原子量は、IUPAC（国際純正・応用化学連合）で承認された最新の数値に基づき、日本化学会原子量専門委員会が独自に作成した <u>4桁</u>の数値を示した。安定同位体がなく天然の同位体存在比が一定していない元素については、同位体の質量数の一例を [] の中に示した。</p>	 <p>* 原子量は、IUPAC（国際純正・応用化学連合）で承認された最新の数値に基づき、日本化学会原子量専門委員会が独自に作成した <u>4桁（変動幅の大きいLiは3桁）</u>の数値を示した。安定同位体がなく天然の同位体存在比が一定していない元素については、同位体の質量数の一例を [] の中に示した。</p>